

湖西市歌について

●制定

昭和47年

●制定のいきさつ

昭和47年に旧湖西町が湖西市となり、湖西市制が開始されました。その際に、市制の誕生を祝して制定されたのが湖西市歌です。

●作詞者 夏目忠男

●作曲者 本間彦作

●歌詞解説

<p>第1節 歌詞</p> <p>遠州灘の 波しぶき 躍る希望の 黒潮は 偉人豊田の こころ意気 息吹伝えて たくましく 伸びる工業 湖西の栄え ああ 燦然と 輝き満てり</p>	<p>第1節 解説</p> <p>飛沫をあげてうち寄せてくる遠州灘の怒涛と、もりあがる希望のように躍動する黒潮とは、さながら郷土の生んだ偉人豊田佐吉翁の強い意志を象徴しているかのようである。</p> <p>佐吉翁の精神を学び伝えて、たくましく進むところに工業の発展、湖西市の繁栄が約束され、その前途には光明が燦然として輝き渡っている。</p>
<p>第2節 歌詞</p> <p>澄める浜名の 湖に うつす人の和 心の和 集う力は 明日を呼ぶ にぎわう巷（ちまた） みのる郊（さと） ともに築かん 湖西の栄え ああ澁刺と 今日も明けゆく</p>	<p>第2節 解説</p> <p>よく澄んだ浜名湖の鏡のような水面には、湖西市のすべての人と人、心と心の結びつきが、そのまま象徴的にうつし出されているかのようである。すべての人の力が結集されてこそ、明日の繁栄が呼び迎えられる。</p> <p>かくして商工業地帯（巷）の賑わいも、農産業地帯の豊穰も実現される。</p> <p>私たちはみんな協力して共に悦び、共に栄える湖西市を築いていこう。湖西市は今日も生氣にあふれて勤労の朝を迎えるのだ。</p>
<p>第3節 歌詞</p> <p>遠つ淡海（おうみ）のむかしより 歴史の歩み たゆみなく 今ぞ輝き 伸び進む 文化の動脈（みち）は 西ひがし 結ぶ真中（まなか）に 湖西は栄ゆ ああ開けゆく われらの湖西市</p>	<p>第3節 解説</p> <p>遠江が「遠つ淡海の国」と呼ばれた遠い古代から、よい郷土をつくろうと、その時代の先祖達の努力がたゆみなく続けられてきた。</p> <p>今こそ盛んに発展する機運を得ている。躍進する文化の大動脈（大道）は、西（大阪）から東京（東京）へと伸びているが、その両都を結ぶ大道の中間に、私たちの湖西市は地を占めて栄えていく。私達の湖西市はこの理想的な条件に恵まれて、ひたすらに発展していくのだ。</p>

湖西市の象徴

市の紋章決まる

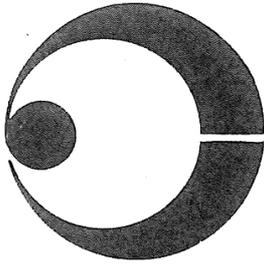
市の木・市の花も

去る十二月十七日役場議事堂で、湖西市のシンボルマークの市章を決める、選考委員会が開かれました。

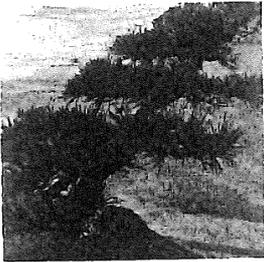
選考委員会には議会の特別委員、町内の学識経験者、住民代表者が出席して、慎重な審査をいたしました。

市の紋章は広く一般から公募し、遠く東は岩手、西は九州からとたくさん応募があり、関係者を喜ばせました。

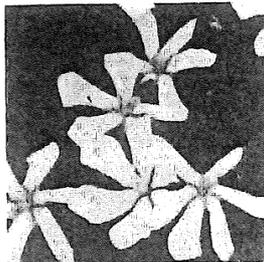
この日の選考委員会では市章の他に、市の木、市の花をあらわして選定しました。



湖西市章



市の木「黒松」



市の花「くちなし」

円形にデザインし、波頭で浜名湖を印象づけるとともに湖西市の円満、発展を現わしています。これからは市のシンボルとして、市の旗をはじめ多方面にわたり活用されます。

市章は「黒松」を選定。応募された市の木、市の花はどれをとっても、新しい市にふさわしいものばかりでしたが、市の木に「黒松」を市の花には「くちなしの花」が決まりました。市の木に太田の石田淳さん

市章の応募点数二百八十三点の中からは優秀な作品が多く見つけられ、選考委員も頭をいためた。ながら、「湖西市に適した簡潔で格調あるものを」と、心掛けて審査にあたりました。

その結果、三重県鈴鹿市の北川治さんの作品が一位に選ばれ湖西市章に決定しました。マークは湖西の「こ」の字を

これからは市章と市の木、市の花をみんなで愛し、緑濃い黒松や純白の花弁を広げるくちなしの花で、市内をいっぱいにしてゆきたいものです。

市章、市の木、市の花の募集にあたり、応募くださった方々にお礼を申し上げます。

市歌の制定

躍進する市を表現

市民皆さんの歌として、「湖西市歌」を制定しました。昨年市制施行が決まると同時に専門家の方に依頼して、今後限りなく前進する市の姿と、美しい自然に

はぐくまれた情景を、歌の中に盛り込んでいただきました。作詩は同明大学の夏目忠男先生に、作曲は静岡大学の岡本彦彦先生によるものです。明日の湖西市を築くうえにも私達の日常の友として、これからはみんなで機会あるごとに、愛唱してゆきましょう。

湖西市歌

一、遠州灘の波しぶき、
躍る希望の黒潮は
偉人豊田のこころ意気
息吹伝えてたくましく
伸びる工業湖西の栄え
ああ さん然と輝き満てり

二、澄める浜名の湖に
うつす人の和心の和
集う力は明日を呼ぶ
にぎわう巷みのる郊
共に築かん湖西の栄え
ああ 渡刺と今日も明けゆく

三、遠つ淡海のむかしより
歴史の歩みたゆまなく
今を輝き伸び進む
文化の動脈は西ひがし
結ぶ真中に湖西は栄ゆ
ああ 開けゆくわれらの湖西市